



<皮膚科>

概要

2011 年度の外来患者数は1日平均 96 人であった。湿疹・皮膚炎群、皮膚感染症などの一般的な皮膚疾患が 2/3 を占めており、残りが皮膚悪性腫瘍、熱傷、皮膚潰瘍などの外科的治療を必要とする疾患であった。また全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎などの膠原病も多かった。

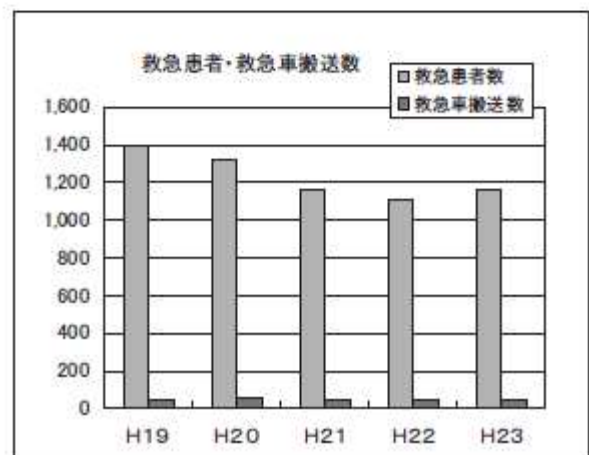
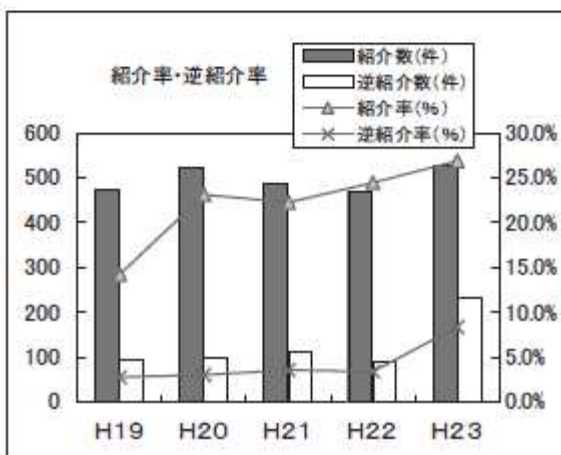
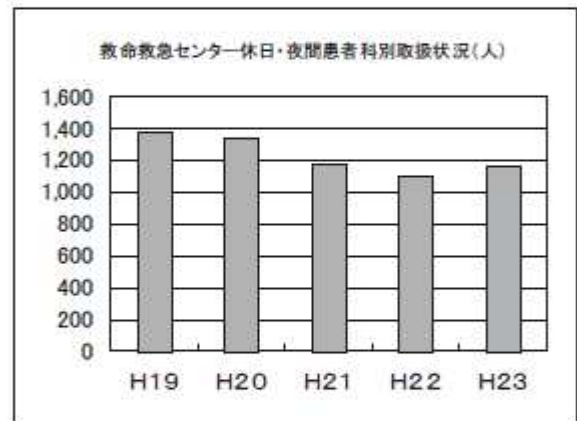
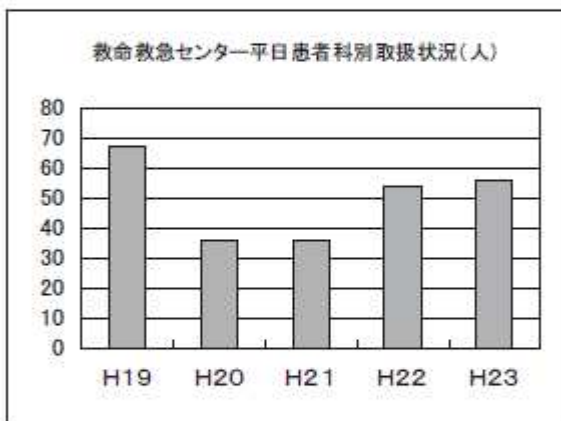
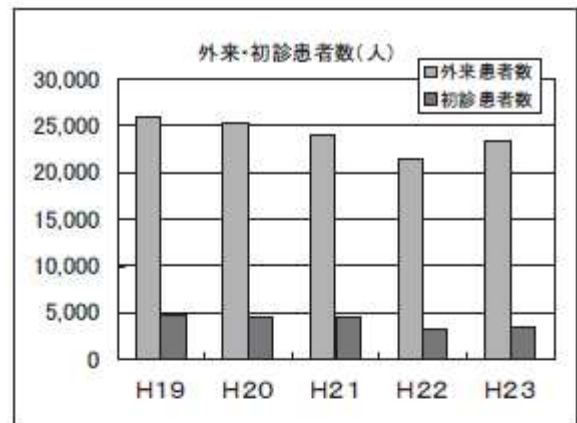
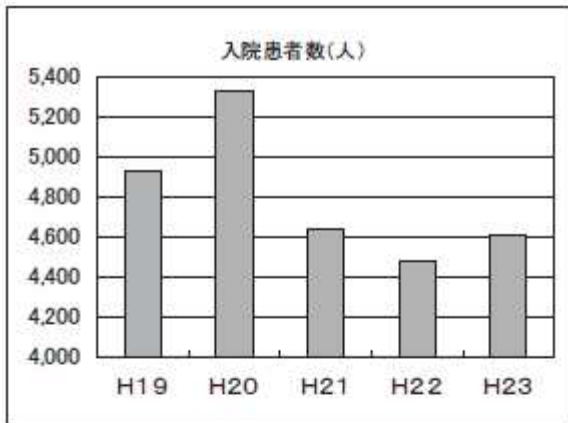
外来手術件数は 301 人であった。そのほとんどが良性腫瘍であったが、48 人が基底細胞癌やボーエン病などの悪性腫瘍であった。

入院患者数は 175 人で1日平均 12 人であった。悪性腫瘍、感染症、熱傷などが主であった。皮膚悪性腫瘍の患者数は 71 人と全体の 40.6%を占めており、その数の多さが当科の特徴である。中でも悪性黒色腫はのべ数で 30 人、新患数で 15 人ときわめて多い。これは大学病院やがんセンターに匹敵する。その全例で手術を行い、2/3 で化学療法を併用している。また、悪性腫瘍の中には血管肉腫が 2 人。メルケル細胞癌が 1 人と稀で予後がきわめて不良な腫瘍も見られた。中等症以上の熱傷は 13 人で合計で 14 回の手術を要した。東三河地区の中等症以上の熱傷はほぼすべて当科で治療されている。

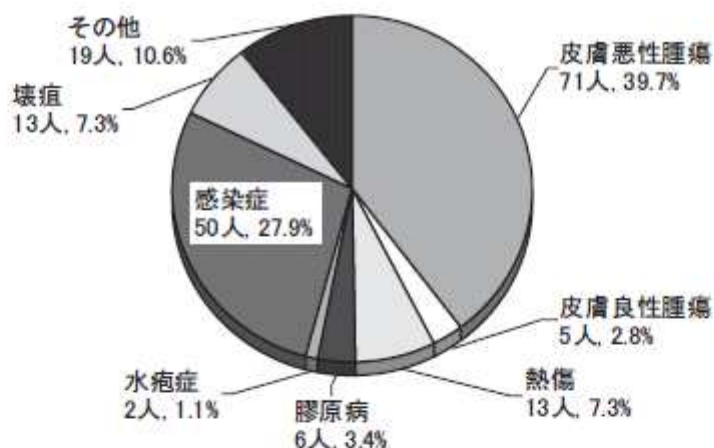
その他の入院患者 19 人のうち 17 人は重度の褥瘡であった。

入院手術件数は 94 件で、うち全身麻酔が 40 件、脊髄麻酔が 15 件、局所麻酔が 39 件であった。ここ数年手術件数に大きな差はない。

(山 田 元 人)



入院患者 (疾患別) 250人 (重複あり)

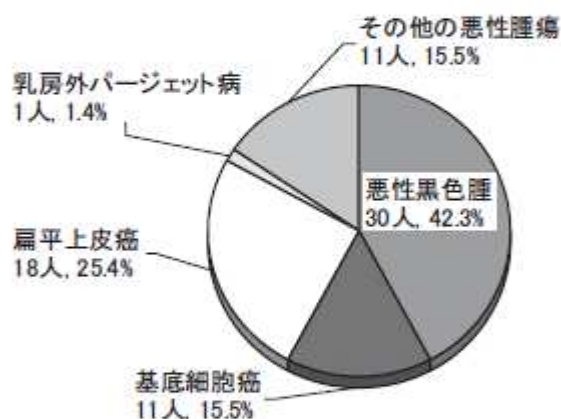


(1)入院患者数 (2011年) 175 (人)

| 疾患名 | 患者数 |
|----------------|-----|
| ①皮膚悪性腫瘍 | 71 |
| (ア) 悪性黒色腫 | 30 |
| (イ) 基底細胞癌 | 11 |
| (ウ) 扁平上皮癌 | 18 |
| (エ) 乳房外パージェット病 | 1 |
| (オ) その他の悪性腫瘍 | 11 |
| ②皮膚良性腫瘍 | 5 |
| ③熱傷 | 13 |
| ④膠原病 | 6 |
| ⑤水疱症 | 2 |
| ⑥感染症 | 50 |
| ⑦壊疽 | 13 |
| その他 | 19 |
| 計 | 250 |

(重複あり)

皮膚悪性腫瘍の内訳 71件



(2)手術件数 395件 (件)

| | |
|---------|----|
| ①入院手術件数 | 95 |
| (ア) 全麻 | 40 |
| (イ) 腰麻 | 15 |
| (ウ) 局麻 | 39 |
| 悪性腫瘍手術 | 55 |
| 熱傷手術 | 14 |
| その他の手術 | 26 |
| 計 | 95 |

(件)

| | |
|---------|-----|
| ②外来手術件数 | 301 |
|---------|-----|

手術件数 (麻酔別) 94件



業績

- 学会・研究会発表
- 論文

学会・研究会発表

1. 紅皮症化した毛孔性苔癬の1例
牧田澄子、鈴木教之、山田元人
第 62 回日本皮膚科学会中部支部総会(四日市)
2. 頭部類器官母斑に合併した母斑細胞母斑から発生したと考えられた悪性黒色腫の
1例
山田元人、有本理恵、牧田澄子、鈴木教之
第 27 回皮膚悪性腫瘍学会(東京)
2011.6.3～4

論文

1. 多発性巨大石灰化上皮腫の1例
牧田澄子、山田元人、鈴木教之、有本理恵
臨床皮膚科 66:2012

